

# 操作方法

## 1.機能説明

コントローラーは主に熱風式オーブンの制御を目的として設計されており操作は非常に簡単かつ便利です。オーブンの各種操作は、コントロールパネルから行います。システムには高性能なマイクロコンピュータ制御技術が採用されており、高精度な温度制御と設定や操作が可能です。調理時間はカウントダウン方式で管理されます。またインジケーター表示により稼働状況を視認できます。

## 2.パラメータ設定

電源の接続後、ソフトウェアのモデルとバージョン番号が表示され、その後「OFF」状態に入ります。

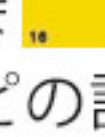
電源キー（POWER）を押すと電源が入り、操作パネルに以下の情報がそれぞれ表示されます：

- ・実温度（庫内温度）
- ・設定温度
- ・調理時間
- ・スチーム時間

### 1) パラメータの手動設定

- ・いずれかのキーを押してください。インジケーターランプが点灯していない場合は、本機がマニュアルモードであることを示します。
- ・矢印キーを押すと、パラメーターの設定と保存が可能です。

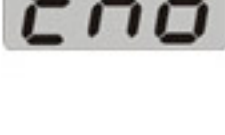
### 2) プログラムパラメータの設定

- プログラム操作モードの開始は、を押します。
- ・温度表示に現在のプログラム番号が表示されます。
  - ・温度調整の、または直接を押してプログラムを選択してください。
  - ・ステップコントロールレシピの設定は、を押します。インジケーターランプが点灯し、で調理温度、調理時間、スチーム時間、送風レベル等の各パラメーターを設定します。1つめのパラメーター設定が完了したら、同様の手順で他のステップも設定してください。
  - ・次のステップのパラメーター設定の際は、再度を押します。
  - ・ステップ番号の上部のインジケーターランプに注目してください。各ランプは設定中のステップを示しています。
  - ・時間をゼロに設定すると、そのプログラムは実行されません。
  - ・設定が完了したらを押して保存し、終了してください。

## 3.動作モード

### 1) マニュアル操作

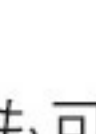
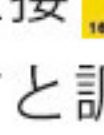
インジケーターランプが点灯していない状態でを押すと、コントロールはマニュアルモードに切り替わります。

設定が完了しましたら、を押すとタイマーの設定時間まで調理動作が開始されます。タイマー表示ディスプレイ に残り時間が表示されます。

設定時間が終了するとアラームが鳴りますので、を押してアラームを停止してください。各操作キーの機能は以下の通りです。

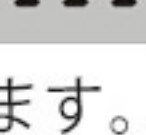
- 換気・排気 操作キー：換気や排気のON/OFF
- スチーマーキー：スチームヒーターのON/OFF
- 照明キー：ライトのON/OFF

### 2) 自動運転

- ・を押すと、温度表示窓にプログラム番号が表示されます。
- ・で温度調節を行います。プログラム番号を選択しを押して終了します。
- ・または、直接を押してプログラムを選択することも可能です。
- ・を押すと調理がスタートし、タイマー表示に総運転時間が表示されます。
- ・プログラムステップ表示には現在実行中のプログラムが表示され、次のプログラムに自動的に切り替わります。
- ・スチームは、各プログラムステップの開始時に自動で始まります。
- ・設定時間終了時にはタイマー表示が点滅し の画面表示がされ、

## 5.アラーム条件

### 1. 熱電信号異常

熱電信号が2秒以上途切れた場合、温度表示に  と表示され、同時にタイマー表示にも異常表示「Er1」が出ます。

### 2.過熱アラーム

最大温度を50℃以上超えた場合、または設定温度の許容偏差を超えた場合には、温度表示に「Er2」と表示されブザーが鳴ります。この場合は直ちに加熱を停止してください。温度が正常範囲に戻るとアラームは解除されます。

### 3.ブロワーホイール過熱アラーム

温度表示に「Er3」と表示され、ブザーが鳴った場合には、ブロワーを停止してください。過負荷状態が解消されるまでアラームは継続します。

### 4.扉開放

オーブンの扉が開くと、タイマー表示に「door」と表示され、庫内灯が点灯します。扉を閉めるとタイマーが再開します。庫内灯は手動で消灯してください。

### 注意

アラーム作動時にはブザーが断続的に鳴り作業者に異常発生を通知します。速やかに状況を確認し、適切な対処を行ってください。

# TIPS（注意点）

- ・トレイの出し入れ時は、熱い表面によるやけどの危険があるため、必ず耐熱ミット（耐熱手袋）を着用してください。
- ・スチーム使用時は、オーブンが十分に予熱されていることを確認してください。庫内への水の漏れを防ぐため、スチーム時間を長く設定しすぎないように注意しましょう。
- ・均一な焼き上がりのため、1回の調理では同一の焼き対象のみを焼くようにしてください。トレイは棚の上に安定して配置してください。

# メンテナンス

- ・清掃およびメンテナンス作業は、必ずオーブンの電源を切り、十分に冷却してから行ってください。
- ・調理後は扉を開けて蒸気や排気を放出し、庫内の残留物を取り除いてください。これにより、次の製品への異臭や異味の移りを防止します。
- ・オーブンの清掃は清潔で湿った布で行ってください。ステンレス部分には塩素系洗剤や表面を傷つける恐れのある工具は使用しないでください。洗剤が表面に残らないよう十分に拭き取ることが重要です。ただし、水で直接洗い流すとショートの原因となるため避けてください。
- ・コントロールパネル、扉のシール、ケーブル、水ホース等は定期的に点検を行い、良好な状態を保ってください。
- ・過負荷リレーやブレーカーが作動した場合は、リセット操作の前に必ずオーブンの電源を切ってください。リセット後も正常に動作しない、または再度作動する場合は専門技術者に点検を依頼してください